

令和8年9月7日
北海道開発局

サーキュラーエコノミーポート選定書手交式を開催します

～道内3港湾が選定、それぞれ選定書手交式を開催～

国土交通省港湾局では、令和8年8月27日に、循環経済（サーキュラーエコノミー）の実現に向け、循環資源に関する物流ネットワークの拠点の形成や高度なリサイクル技術を有する産業の集積に取り組む港湾を「循環経済拠点港湾（サーキュラーエコノミーポート）」として29港選定しました。北海道開発局管内では室蘭港、苫小牧港、石狩湾新港が選定されました。

これを受け、選定書手交式を開催することとなりましたので、お知らせします。

●サーキュラーエコノミーポート選定書手交式（石狩湾新港）

日 時：令和8年9月10日（木） 10時00分～（30分程度）

会 場：札幌第1合同庁舎 地下1階共用会議室（南側） （札幌市北区北8条西2丁目）

出席者：石狩湾新港管理組合 専任副管理者 橋本 雄太

国土交通省 北海道開発局 港湾空港部長 佐藤 徹

（当日の取材について、取材を希望される報道関係者は別紙「取材申込書」に必要事項を記入の上、9月9日（水）12時までにメールでお申し込みください。当日は9時45分までに札幌第1合同庁舎地下1階エレベータホールにお集まりください。）

●サーキュラーエコノミーポート選定書手交式（室蘭港、苫小牧港）

日時・会場：令和8年9月15日（火）室蘭市役所

令和8年9月16日（水）苫小牧市役所

出席者：室蘭市長 青山 剛

苫小牧港管理組合管理者 苫小牧市長 金澤 俊

国土交通省 北海道開発局 港湾空港部長 佐藤 徹

（本手交式における報道関係者の取材対応は予定しておりません。写真等が必要な場合は、別紙「取材申込書」に必要事項を記入の上、9月9日（水）12時までにメールでお申し込みください。）

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

港湾空港部 港湾計画課 港湾企画官 大山 裕司（内線5612）

港湾空港部 港湾計画課 上席専門官 横山 慎司（内線5615）

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>



「循環経済拠点港湾（サーキュラーエコノミーポート）」の概要

1. サークュラーエコノミーポート

サーキュラーエコノミーとは、資源や製品の価値を維持、回復又は付加することで、循環的に利用する経済システムであり、製品等の長寿命化、再利用、リサイクル等の取組を循環資源の需給両面から促進し、天然資源利用や廃棄物排出を減少させる経済システムです。

サーキュラーエコノミーポートは、循環資源の流動・種類の増大、小口の循環資源の輸送ニーズへの対応、周辺環境や他の貨物への影響を防止するための対策など、サーキュラーエコノミーを巡る様々な社会的要請に取り組む港湾であり、港湾管理者、リサイクル関連企業、物流事業者、関係省庁など、多様な主体と共に連携しながら、サーキュラーエコノミーの実現を目指すものです。

2. 選定結果の概要

今般、提出があった選定申請書について審査を行った結果、いずれの港湾についても、サーキュラーエコノミーに係る港湾貨物の取扱、高度な分別収集・再資源化施設の立地、小口・多種多様な循環資源の輸送、貨物取扱環境の整備、港湾間の連携等による輸送効率化やサーキュラーエコノミーへの貢献についての実績や計画が認められ、選定要件を満たしていることを確認しました。そのため、申請のあった全29港を、サーキュラーエコノミーポートに選定します。

港湾名	港湾管理者	港湾名	港湾管理者	港湾名	港湾管理者
室蘭港	室蘭市	小名浜港	福島県	境港	境港管理組合
苫小牧港	苫小牧港管理組合	相馬港	福島県	徳山下松港	山口県
石狩湾新港	石狩湾新港管理組合	千葉港	千葉県	宇部港	山口県
八戸港	青森県	木更津港	千葉県	三島川之江港	愛媛県
釜石港	岩手県	川崎港	川崎市	須崎港	高知県
大船渡港	岩手県	姫川港	新潟県	宿毛湾港	高知県
秋田港	秋田県	伏木富山港	富山県	北九州港	北九州市
船川港	秋田県	三河港	愛知県	三池港	福岡県
能代港	秋田県	舞鶴港	京都府	中城湾港	沖縄県
酒田港	山形県	姫路港	兵庫県		

3. 選定港概要

サーキュラーエコノミーポートの選定は初めの取組であり、その位置図は以下のとおりです。



(参考)

港湾局では、循環資源を効率的に取り扱うために、港湾管理者等による港湾での循環資源の蔵置、保管等を行う循環資源取扱支援施設の整備に対する支援を行っております。

また、環境省環境再生・資源循環局では、「再生材供給サプライチェーン構築支援事業」において、港湾管理者等による港湾での循環資源の荷役設備等の整備を支援する予定であり、特にサーキュラーエコノミーポート選定港での整備については、支援対象の審査にあたり加点措置が講じられる予定です。（※詳細は今後の環境省の報道発表をご確認ください。）

<取材申込先>

メール送付先：北海道開発局 港湾空港部 港湾計画課 高橋

メールアドレス： takahashi-k22ba@mlit.go.jp

取 材 申 込 書

サーキュラーエコノミーポート選定書手交式に関する取材を希望する報道関係者の方は、本様式を用いて上記宛先までメールでお申し込みください。

申込締切は、9月9日（水） 12：00です。

■会社名及び部署名
■取材者 役職・氏名（全員の役職・氏名を記載願います） ①（代表者） _____ ② _____ ③ _____
■代表者の連絡先
■テレビカメラ持込みの有無（該当するものに○をつけてください） 有 ・ 無
■室蘭市及び苫小牧市にて開催するサーキュラーエコノミーポート選定書手交式の写真提供希望の有無（該当するものに○をつけてください） どちらも希望 ・ 室蘭港分のみ希望 ・ 苫小牧港分のみ希望 ・ 希望なし

※ご記入いただいた個人情報については、手交式に関する連絡以外では使用しません。